

平成23年台風12号で 何が起きたのか！2015

～紀伊半島大水害の記録を伝えていく～

平成23年9月の台風12号によって、紀伊半島では、大規模な斜面崩壊、土石流、洪水などが多数発生し、甚大な被害を受けました。このような豪雨災害が発生する原因は複雑ですが、基本的な知識があれば、避難計画といった事前対応策の検討や豪雨が来た時の実際の避難行動に役立ちます。そこで、平成24年9月に新宮市で開催した同名の講演会に引き続いて、それ以降に実施した3年間の調査研究活動の成果報告会を開催いたします。この講演会を通して、豪雨による土砂災害や河川災害への備えについて一緒に考えていきたいと思っていますので、皆様の参加をお待ちしています。



2015年12月13日 (日)

12:00～16:30 (受付開始 12:00)

会場：那智勝浦町体育文化会館

(和歌山県東牟婁郡那智勝浦町大字天満字木戸浦 441-8)

2階 (大集会室、第3&4研修室)

定員：200名

参加費：無料

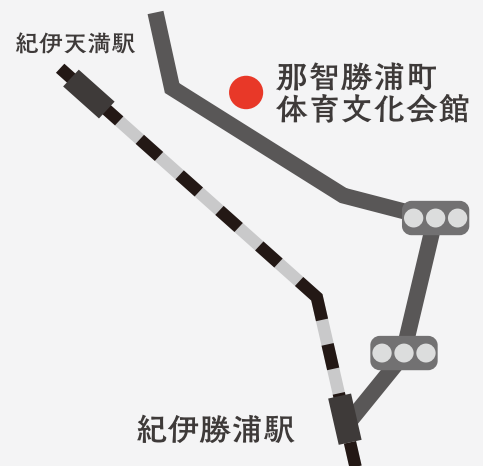
※事前登録は不要です。会場まで直接お越しください。

問い合わせ先 和歌山大学防災研究教育センター (〒640-8510 和歌山県和歌山市栄谷930番地)
TEL:073-457-7558. E-mail:bousai@center.wakayama-u.ac.jp

共催：(公社)地盤工学会関西支部、和歌山大学防災研究教育センター、国土交通省近畿地方整備局
協賛：(一社)日本応用地質学会関西支部、(一社)関西地質調査業協会、中部地質調査業協会

後援：和歌山県、那智勝浦町、新宮市、太地町、古座川町、和歌山県教育委員会、新宮市教育委員会、東牟婁地方教育委員会連絡協議会、和歌山県社会福祉協議会、新宮市社会福祉協議会、那智勝浦町社会福祉協議会、太地町社会福祉協議会、古座川町社会福祉協議会、(一社)新宮青年会議所、西日本旅客鉄道(株)和歌山支社、(株)紀伊民報、(株)熊野新聞社、(株)紀南新聞社、(株)ZTV新宮放送局

会場までのアクセス



特急停車駅JR紀伊勝浦駅から
車で約5分

共催・協賛団体によるパネル展示, PC デモ

12:00

↓

12:55

(3D シアター) 土砂災害の 3D 映像

(パネル) 紀伊半島大水害調査写真

(パネル) 防災ジオツアー

(パネル) 豪雨による土砂災害への備え

(PC デモ) あがら防災 - 和歌山県防災情報共有プラットフォーム -

(PC デモ) 災害情報高度利用プロジェクト紹介 HP

(PC デモ) Map Layered わかやま

(PC デモ) あかりマップ

など

講演

12:55

開会挨拶

此松昌彦

和歌山大学 防災研究教育センター センター長 / 教育学部 教授

13:00

国土交通省近畿地方整備局の取り組み (那智川の土石流災害)

吉村元吾

国土交通省近畿地方整備局 紀伊山地砂防事務所長

13:30

土砂災害を引き起こした降雨の特徴

江種伸之

和歌山大学 システム工学部 教授

14:00

大規模斜面崩壊の特徴

鍋島康之

明石工業高等専門学校 都市システム工学科 教授

14:30

休憩

14:45

東牟婁地域で多発した表層崩壊・土石流の特徴

辻野裕之

サンコーコンサルタント株式会社 大阪支店 副支店長

15:15

河川災害

中西典明

復建調査設計株式会社 大阪支社技術部 部長

15:45

紀伊半島の文化遺産被害

石田優子

立命館大学 歴史都市防災研究所 専門研究員

16:15

閉会挨拶

深川良一

立命館大学 理工学部 教授